



戦争をさせない Anti-War Committee of 1000 1000人委員会

1000人委員会ニュースNo.32

(2015年8月27日号)

〒101-0063東京都千代田区
神田淡路町1-15 塚崎ビル3階

TEL:03-3526-2920

FAX:03-3526-2921

■8・30 国会 10 万人 全国 100 万人大行動に 集まろう！

8月30日には「戦争法案廃案！ 安倍政権退陣！ 8.30国会10万人・全国100万人大行動」を行います。

国会周辺を10万人以上の戦争法案絶対反対！の怒りの声で埋め尽くし、安倍政権を退陣へ追い込みましょう！ また、この日は全国各地でも同時行動にとりくみ、全国で100万人の参加をめざしましょう。

総がかりの力で、戦争法案廃案、安倍政権退陣、政策転換実現を絶対にかちとりましょう！

**戦争法案廃案！
安倍政権退陣！**
8.30国会10万人・全国100万人大行動

8月30日 日 14:00～
場所：国会議事堂周辺ほか
※全国各地で同時行動にとりくんでください！

主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

お問い合わせ先	
総がかり行動実行委員会	http://sogakari.com/
戦争させない1000人委員会	TEL 03-3526-2920 http://anti-war.info/
解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会	TEL 03-3221-4668 http://kyujokowasuna.com/
戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかなず共同センター	TEL 03-5842-5611 http://www.kyodo-center.jp/

「全国100万人大行動」では、各地で同時行動を取り組んで下さる方の連絡を待っています！

全国100万人大行動ー全国を戦争法反対の声で埋め尽くそう！



※随時、情報を更新していきます。誤記や、抜け、追加情報などあれば、上記のリンク先のページのメールアドレスに、ご連絡下さい。

全国各地で開催される100万人大行動については、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」ホームページ【<http://sogakari.com/>】の全国地図にアップされています。

地図上の赤いピンをクリックすると、各地の集会やとりくみの詳細がご覧頂けます。

随時、情報を追加して更新していますので、各地のとりくみ情報をお寄せください。

「戦争をさせない・9条壊すな！
総がかり行動実行委員会」の
ホームページより

「8.30 国会 10 万人・全国 100 万人大行動」国会周辺開催地図
（「戦争をさせない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会」ホームページより）



※トイレは桜田門、永田町、国会議事堂前、霞ヶ関、溜池山王、などの各駅をご利用ください。
①：衆議院議員面会所内、②：憲政記念公園北庭園、③：憲政記念公園南庭園、④：イイノビル内

■8.20 「8・30 国会 10 万人・全国 100 万人大行動」総がかり行動実行委員会記者会見

8 月 20 日、戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会は、「8.30 国会 10 万人・全国 100 万人大行動」についての記者会見を参議院議員会館内で行いました。1000 人委員会呼びかけ人の福山真劫さん、清水雅彦さん（日体大教授）、「安保法案に反対する学者の会」の浅倉むつ子さん（早稲田大教授）、「立憲デモクラシーの会」呼びかけ人の千葉眞さん（国際基督教大教授）らが出席し、総がかりで 8・30 大行動を成功させる決意を集まったマスコミにアピールしました。



8・30 大集会に先立ち、総がかり行動実行委員会が記者会見を行った（参議院議員会館）。右から清水雅彦さん（1000 人委員会呼びかけ人）、浅倉むつ子さん（早稲田大教授）、千葉眞さん（国際基督教大教授）、左から 2 人目は奥田愛基さん（SEALDs）ら。

8 月 30 日の「戦争法案廃案！安倍政権退陣！ 8・30 国会 10 万人・全国 100 万人大行動」は、国会周辺では 14 時から 16 時まで、正門前をメインステージとして国会議事堂の周囲にスピーカーを設置し、日比谷公園霞門前（弁護士会館向かい）を第 2 ステージとして宣伝カ

一を設置します。さらに国会から日比谷公園までの間に数台の宣伝カーを配置して独自集会も行います。また、午後14時、15時、15時55分を全国一斉コールの時間として、国会周辺の10万人、全国100万人が一斉にシュプレヒコールを上げます。

■8.20 戦争法案反対 国会前連続集会（第14回）

戦争をさせない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は、8月20日、国会前連続集会の第14回目を開催しました。約2300人の市民らが参加し、参議院での審議が再開した戦争法案に対して、強く廃案を求め抗議の声を上げました。また、国会議員や学者も多く駆けつけ、アピールが行われました。途中から降りだした雨にも負けず、参加者は国会に向かってシュプレヒコールを上げ、戦争法案廃案を訴えました。

集会の最後には、8月30日の大行動に向けた呼びかけも行われ、

「8.30 国会10万人・全国100万人大行動」に結集して全力で闘うことを確認し合いました。



電車の中などでアピールできるブックカバーを紹介する、9条壊すな！実行委員会の菱山さん



「戦争法案廃案！」「8・30を成功させよう！」の声を上げる参加者

戦争をさせない1000人委員会の呼びかけ人である清水雅彦さん（日本体育大学教授）は、『積極的平和』という言葉の提唱者のガルトゥングさんが現在来日している。安倍さんの言う『積極的平和主義』は、自分が提唱したそれとはまったく違うと述べた。『積極的平和』とは、貧困なども含めた構造的暴力をも解消しようという考え方だ。ガルトゥングさんの言うように、憲法を持った私たちがすべきことは、戦争や軍隊を否定し、それだけでなく世界中の貧困問題なども解決するよう努めることだ」と訴えました。

■「戦争法案」を葬ろう 8.20 集会

8月20日、戦争をさせない1000人委員会と立憲フォーラムの共催で、『戦争法案』を葬ろう8.20集会」が衆議院議員会館で開催されました。集会では、民主党・参議院安保特別委員の小西洋之議員が委員会での審議の状況について報告し、「参議院では法案に賛成する少数会派にも平等に時間が割り当てられるので、反対する野党の質問時間はかなり短いのが現状だ。しかし



満場の参加者を前に講演する姜尚中さん（参議院議員会館）

違憲の立法を阻止するのがわれわれ立法府の存在意義なので、対案ではなく、とにかく廃案にするだけだ」と決意を訴えました。講演では、『アジアと日本』再構築のために」と題し

て、東大名誉教授の姜尚中さんが講演しました。

姜尚中さん（東大名誉教授） 安倍談話には私はもどかしさを感じた。皆さんも恐らくそうだろう。4つのキーワードを、文脈をバラして入れてしまった。これはまるで広告代理店が書いた文章だ。私が一番気になったのは、日露戦争が植民地諸国を勇気づけた、という部分だ。確かにそういう面がなかったわけではない。1943年に東條英機が主催した大東亜会議の時にも、フィリピンやインドなどにはどこかで解放されるのではないかという空気があった。しかし実際は、アジア諸国の2000万以上の方々が悲惨な目にあった。日露戦争というものに対する評価は後々大きく変わってくる。韓国にとって、1905年は、外交権を実質奪われた第二次日韓協約が結ばれた年だ。韓国からすれば、これは隷属への道だった。だから韓国側はこの日露戦争の部分に一番反応を示すのではないのか。つまり、これは安倍流のナショナルヒストリーを弁明として述べているだけではないのかということだ。15年戦争と呼ばれたアジア太平洋戦争の内実にはほとんど触れず、その前史である大恐慌やブロック経済を取り上げ、日本は結果としてその道を歩まざるを得なかった、客観的な環境が日本を誤った道に導いていったのだ、という文脈で語る。日本は何を目指して、どんな考えをもって、あの戦争を戦おうとしたのか、それがほとんど触れられていない。日本会議をはじめとする安倍さんの支持基盤は、いわゆる東京裁判史観を何とかして壊そうと様々な運動をやってきた。東京裁判は勝者の裁きであり、日本の存在理由を否定してしまうものだ。しかし現実には日本はポツダム宣言を受諾した。そこにはカイロ宣言は履行されるべしと書いてある。カイロ宣言をよく読むと、「朝鮮人民の奴隷状態に留意し」という言葉や「日本が事実上盗んだ台湾や満州はすべて返済しなければいけない」といった文が書いてある。カイロ宣言には疑義も述べられているが、日本がポツダム宣言を受諾し、サンフランシスコ講和条約、日米安保という形で国際社会に復活した以上、東京裁判史観を否定することは、もう一度すべてをやり直すということだ。これは大変なことで、あり得ないことをやろうとしている、そこに大きな問題があると思う。



村山談話と安倍談話

村山談話と安倍談話を比較すると、村山談話はお詫びの主体が誰であるのか、誰が誰に対して何をしたのかがはっきりしており、明確に謝罪が述べられている。その根幹にあるのは、日本と近隣アジア諸国との信義の回復だ。信義こそが最も大切だと最後を締めくくっている。今読んでもこれは名文だと思うし、グローバルスタンダードとして世界が認めた文章だと思う。安倍談話はそれを事実上バラバラに解体して、「植民地支配」や「反省」という言葉を文脈なしに、不都合な事実にはできるだけ蓋をする形で取り込んでいる。だから村山さんからしたらさっぱりわからないという評価が出てしまう。海外から見ても、日本がどちらの談話に向かうのかよくわからない。安倍首相としては上書きしたかったのだろうが、それができないような状況があったというのは間違いない。私は談話の内容にかかわらず、これを内外の外交の重要なトピックにしてしまった時点で失策だったと思う。迷走した挙句にどんな談話が出るのかという期待も含めて、こういう結果になってしまった。もちろん、無難なところに落とし込んだという評価をする人もいる。しかし、私はますます混迷を深めたのではないかと考えている。

合法性の仮面を被ったクーデター

もっと重要なのは、今回の安保法案に際してアメリカに公約し、国会を骨抜きにして日米の間ですでに軍事シミュレーションを行っているということだ。国会の審議が消化試合になっている。法律が憲法を覆すという事態は、合法革命と言える。合法性の仮面を被ったある種のクーデターだ。今、生活保守の立場が憲法を守れといい、それを覆そうとする立場が真の保守を目指すという、非常におかしな状況になっている。今や、憲法を守れという立場がある意味究極の保守だ。これまでは自民党が究極の保守を上手く演じることによって、55年体制を維持してきた。とするとやはり、自民党が大きく変質している。戦後70年間、自民党が築いてきたものが土台から崩されようとしているのに、どうして自民党の中から反対の声が起きないのか不思議でならない。一般市民が生活保守の立場から戦争に反対する声をあげ、それが今大きなうねりになっている。しかしそれは、結果として自民党の55年体制に戻ってしまう可能性がある。日米



安保以外の選択肢、日米安保を相対化するような安全保障を考えていかなければ、もう一歩前には進まないのではないかと。

多国間の枠組み

私は二国間ではなく多国間の平和安全保障の枠組みを作るべきだと主張している。東南アジアにはASEAN フォーラムがあり、欧州にも安全保障協力機構がある。体制を問わず大きな一つの広場がある。しかし北東アジアにはそれがない。多国間会議の場すらない。何か問題が起きた時に話し合える場所を作らなければならない。確かに中国の対外政策には大いに問題がある。しかし特定の新興大国をターゲットにして日米安保をこれまで以上に推し進めて、果たして日本の抑止力を高めることができるのか。これでは軍拡を進めざるをえない。ここで立ち止まってもう一つの選択肢を探らない限り、沖縄問題の回答もない。そこで必要な例として、六者協議を私は挙げてきた。しかしこの10年間は開店休業状態だ。北朝鮮がこの間3回に渡る無謀な核実験を行い、日本の防衛予算は北朝鮮や中国に備えるという理屈で5兆円を超えた。しかし六者協議には、その北朝鮮を包含してこの地域の非核化を進め、信頼醸成措置を取り、六カ国で多国間のフォーラムを作ろうという最低限の可能性があると思う。拉致問題も六者協議によってミサイル・核問題と同時に進めなければ回答を見いだせないのではないかと。アメリカはあれほど敵対していたキューバとイランとも国交を正常化した。残った一つが北朝鮮だ。オバマ政権の残りは少ないが、正常化の方向に向かう可能性はあるのではないかと。六者協議のアメリカ特使になっているのは韓国の延世大学で修士課程を取った北朝鮮の専門家だ。アメリカ側のスタッフが本腰を入れて寛容政策を取れば可能性はあるのではないかと。アメリカは中国やロシアと協力してイランの問題を解決した。イスラエルの利益を無視してまでもイランとの国交交渉にたどり着けた。だから北東アジアにおいてもそれができないことはないと思う。

日本は日米安保を相対化できるようなもう一つの選択肢を積極的に作っていくべきだった。しかし西ドイツがやったように西側から西側へと、つまり太平洋の向こう側へ擦り寄っていくことしかなかった。これで日本は本当に安全を確保できるのか。近隣諸国の平和に資することになるのか。日米安保以外の多国間の枠組みを作っていくかない限り、例え廃案になったとしても、沖縄問題を解決するような道筋は見えない。日本の安全保障をどうすべきか、もっと積極的に議論していく必要があるだろう。

■8.18 とめよう！戦争法案 一斉街宣行動



8.30のチラシなどを配布（有楽町駅前）

「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」は、8月18日の夕方、都内で一斉街宣行動を行いました。

戦争をさせない1000人委員会は、有楽町駅イトシア前で街宣を行い、街を行く市民や仕事帰りの会社員に戦争法案反対を呼びかけました。

また同日、御茶ノ水駅前では「戦争をさせない1000人委員会」千代田・中央のメンバーも街宣を行いました。約1時間の街宣では、多くの市民も飛び入りで参加し、駅利用者や市民にチラシやリーフレットを配布し、署名も集めました。



1000人委員会千代田・中央も独自に街宣活動（御茶ノ水駅前）

■みなさんからのメッセージ

— 「戦後 70 年の安倍談話」驚いてしまいました。「日露戦争は、植民地支配の下にあった、多くのアジアやアフリカの人々を勇気づけました」と。日本とロシアが満州・朝鮮の覇権を争った戦争が日露戦争で、この戦争を経て日本が朝鮮を併合していった。安倍首相のこの歴史認識は許されないもの。政府・自民党はこのような歴史認識で教科書を作っていくようになるのでは。今回の談話は、談話ではなく首相の妄言である。心配は尽きない政治状況。廃案に向けて声を上げていきましょう。(東京・男性)



キャンドルやプラカードを手に抗議する参加者
(8月20日、衆議院会館前)

— 署名を集めるにあたり、若い人の中には「戦争に行っても良い」とか、ゲーム感覚の人が多くことに驚きと恐怖と焦りを感じました。犯罪ではなく公然と殺人ができる戦争には、自分のムシクシする感情のはけ口になるような気配です。しかし、この戦争法案により日本国民の多くの人が「気づかされた」ことでしょう。歴史をもっと勉強すべきだと。廃案になることを毎日願っています。諦めません。

■集会・活動スケジュール

8月27日時点での予定です。日程変更や緊急の行動呼びかけをさせて頂くことがあります。行動の詳細は1000人委員会ホームページ、または「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」のウェブサイト <http://sogakari.com/> をご覧頂るか、事務局までお問い合わせください。

8月30日(日) 14時00分～16時00分 8.30国会10万人・全国100万人大行動
場 所：国会議事堂周辺、全国各地

9月 3日(木) 18時30分～ 戦争法案反対国会前集会(連続行動第16回)
場 所：衆議院第2議員会館前

9月 10日(木) 18時30分～ 戦争法案反対国会前集会(連続行動第17回)
場 所：衆議院第2議員会館前

9月 17日(木) 18時30分～ 戦争法案反対国会前集会(連続行動第18回)
場 所：衆議院第2議員会館前

9月 24日(木) 18時30分～ 戦争法案反対国会前集会(連続行動第19回)
場 所：衆議院第2議員会館前

「戦争をさせない全国署名2015」 第3次締め切り：8月31日

「戦争をさせない全国署名2015」は、第1次集約で165万8955筆を6月に提出しました。第3次集約の締め切りは8月31日(月)です。全国のみなさんから、たくさんの署名をお待ちしております。